

令和3年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	応急仮設住宅は、おおむね解体され、復興住宅入居や、自宅再建が進んでいる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	私が担当区長の仮設団地で、「被災者の生活回復」はそれぞれがめでたく自立転居した。12月に仮設住宅の解体が始まり、9年間の長い道のり絆の足跡を刻んだ仮設団地文化の終焉となった。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	被災してから10年、皆さん、それぞれ、落ち着くべき所に落ち着かれたと思うので。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	災害公営住宅では、自力再建や転出などで、若い人が少なくなってきた、自治会の運営もままならぬ状況に陥りそうだと聞く。本来の使用目的とは異なるが、空き部屋を放置するのではなく、新卒の就業希望する若者に、3年間の期限付きで毎月一万円の家賃で賃貸してはどうだろうか。条件としては、自治会活動に必ず参加する。3年間で、民間の賃貸住宅に移る資金も貯められると思うし、人口増加につながり震災復興のパワーとなる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	被災からの回復が完結する前に、新型コロナウイルス感染症の影響による課題が発生し、市民の生活に大きく影をおとしている。コミュニティ形成のために必要な、活発な交流活動がなされず、人と人のつながりが細くなってきている印象がある。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	生活は回復したと言っても、家を建てるための銀行からの借入れが多かれ少なかれ負担となっている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	当町内地区の住宅環境は落ち付いている。 例)新しい住宅建築、人の移動等にて大きな動きはなく、落ち着いている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	住宅ローン等の支払や災害住宅の家賃の支払の金銭的負担増はあると思うが、生活感は震災前と同様になってきていると感じる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	住環境の整備が進み、銀行の住宅ローンの取扱い件数も減少してきていることから、住宅建築を希望していた方は、だいたいとその建築を終え、そうでない方は、災害公営住宅等への入居が決まり、住環境にかかる生活の回復度はかなり高まったと感じる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	すべての住宅再建が終り、落ち着いた生活を送っている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	住宅再建が進み、生活環境は回復したと思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	被害を受けた建物は全て復旧している。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	前回記入した時と変わらない。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設住宅の撤去作業が進み、町の整備も進んでいる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	仮設住宅や仮設店舗もなくなり、震災前に近い生活を送れるようになってきていると感じる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	被災した方々も住宅を再建されており、仮設住宅に住んでいる方が、ほぼゼロになっている。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	仮設住宅が撤去され、皆さんがそれぞれの住宅に移ったから。労働状況も、被災者というより、今度はコロナの影響をうけているの方が大変そう。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	施設復旧等の目途が立ったと思う。ただ高齢者が多く若者がいないので、今後の地域づくりが大事になってくる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	周囲の方々に困っているという話を聞くことがない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	鎌ヶ崎元気市が七滝公園で賑わった。今度で2回目である。多くの人々が来て、賑やかだった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	陸前高田市は東日本大震災に於いて甚大な被害を受けており、未だに復興大工事が行なわれている。国で示している復興期間が令和3年3月末迄とされているが、大方は終りつつあるが、未だに市内各地に大型重機が工事の為、動いており、市民の1人として、期間内に終りそうにない形と見ている。一部報道では陸前高田市は、工事が終わらないとも流れている状況である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	私が住んでいる今泉地区は10年たって、やっと落ち着いた感がある。姉歯橋も開通し、中心部には商業施設も開店したが、これ以上家も人も増えないと困る。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住宅再建も進み、生活は安定したと思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	コロナの影響もあり、回復に向かっていったのが戻った感じがする。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	町中心部住宅地に再建した方、已むを得ず災害公営住宅に入居された方等、八割方落ち着いた生活を取り戻した感に見受けられる。今も一棟位再建は見られるが、震災前の町並みにはならず、更地が多い。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	・年の経過とともに住環境が進んできている。 ・仮設住宅の退去期限に伴い、それぞれがようやく落ち着きを取り戻しつつあるように感じます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	ほとんどの仮設住宅は閉じられ、住宅再建は進み、生活再建もだいぶ進んだ様に思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設住宅もほとんどなくなり、着実に回復していると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	せつかく落ち着いた生活になってきたと思ったが、コロナの影響が結構大きくなっていると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	目にみえる形での住宅再建は、ほぼ完了したように思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	ペイペイを導入できるくらい回復した。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	仮設住宅が集約され、公営住宅や自宅を再建して新しい生活を始める人が多いと思う。住宅地の道路工事も進んでいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	公営住宅や新店も復興道路も整備され、外見的には生活の回復は感じられるが、年月が経ち、復興住宅の家賃が急に高くなり、退去せざるを得ない現状もあり、充分安定しているとは言い難い面もある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災された方々の住環境については、ほぼ回復したと思われる。日常の生活に於ても、かなり落ち着きを取り戻しているように思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	一般住宅の増加が見受けられる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	道路の整備が進み、利便性が向上している。復興住宅へ入居された方や、一人暮らしの高齢者の方への生きがいづくり、サポートに力を入れていただきたい。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災から間もなく10年を迎え、平穩に日々を過ごしているように見えるが、コロナ禍がこれからは続くと思うと不安を感じる。自然災害は大きな脅威であるが、コロナは目に見えない恐ろしさを感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	仮設住宅跡地は、草が生い茂り、そこに被災者の暮らしがあったことを全く感じられないようになっている。ここから住宅再建を果した家族、災害公営住宅に移り住んだ人、それぞれに住む場所を見つけて久しい。ただ、生活が楽になったかどうかは、それぞれの家の収入によって違う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	(1)水産業、不漁とコロナウイルスで大変である。 (2)同様
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・復興へ向けた公共工事は、ほぼ完了している。一方で個人住宅や、店舗等の建設は仲々進展していない。依然として空地が目立つ。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	災害公営住宅の完成、高台への移転住宅建設等、間もなく震災から10年が経とうとしているが、回復していると感じる。今後はコミュニティのサポートに加え、高齢者中心に交通面のサポートも必要となってくるのではないかと。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	日常生活に支障のないレベルまで回復している。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	住宅や店など再建がほぼ終わりに近いように見られるが、防潮堤の完成がちかいけど、周辺の道路が整備されないのが不便であること。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	復興道路の工事が進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	三陸復興道路完成に向けた工事が急ピッチで進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	東日本大震災における住居や建物の被害については、回復をしていると感じられる。また、その後の台風被害についても、災害公営住宅等が完成しており、住環境面における再建はなされてきているものと思われる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	住宅の状況や各々の就労状況を考慮すると震災以前と同程度または良好化している面も見てとれる。反面、震災を機に廃業した事業体は、その代替事業先の発生もなく、町としての産業の衰退は進行している。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	公営住宅を含めて住宅再建はほぼ済んでいると思われる。しかし、流出した人口が戻っていない現実を見ると、これが最終の形でよいとは、なかなか思えない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	コロナの影響で、周囲の状況はあまりよく分かりません。被災前と住む所が違うために、離れた友人となかなか会えない。(年齢も高齢になっているので。)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	被災した方から震災について、詳しく話を聞ける状況になってきた。(震災のことよりも、今はコロナの影響のほうが大きいのかもかもしれない。)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	自宅再建や復興住宅等への転居が行われ、仮設の生活からは抜け出せている。 ※ハード面では回復したと思っているが、復興住宅などでの孤独死があり(死後何日も気づかれなかった人もいた)、コミュニティということでは、課題も多い。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	基本的には前回(令和2年7月調査)と同じ理由であるが、新型コロナウイルス感染症の発症後、日常生活の各方面に影響が出ており、どちらとも言えない状況に後退している。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住環境の住まいと交通はよくなった。建築業、建設業の仕事がなくなり、町外に働きに行ったり失業している人が見られる。生活がきびしいと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	ほとんどの方が、仮設を出て、本設(公営、再建)に移ったので、震災からは回復したと感じる。ただ、コロナの影響、昨年の台風の影響が影をおとしている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	前回同様、震災後からみなし仮設(AP等)で生活している世帯がまだある。(形態がみなしのままなのかどうかは解りませんが…)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	完全に回復したと言えるのが、どの状況かと思う所もある。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	だいが生活は回復しているように思う。しかし、6カ月間の程度と考えると、とくに変化は感じない。コミュニティ形成のためにあった活動がコロナにより縮小しているのもそう思う原因かもしれない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	良くもなく、悪くもないと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	三陸道の整備や集団移転地への住宅再建、公営住宅入居などは完了した。ハード面の整備は終了したが、住宅再建した世帯は住宅ローンの返済、公営住宅入居者は家賃の支払いなど経済的には、以前より苦しい世帯が多い。このため、国保医療費の当面の無料化は本当に助かっている。特に高齢者の年金収入のみの世帯は、当地域から病院まで、三鉄やバスを利用せざるを得ず、窓口での一部負担金、交通費を考えると、通院を制限せざるを得ない状況である。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	震災からは回復したと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	・沿岸地域の直接被災した海岸付近の公共設備等着々と整備され、ほぼ回復。 ・直近6ヶ月となると三陸道の整備は確実に進んでいるとは思いますが、大きな変化は感じない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	住宅の再建はほぼ終わったと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	「東日本大震災」からのと言う意味では、生活は落ち着いていて、進捗は変わらないと感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	生活は、だいが落ちていて一見通常どおりのように見え、新たな進展はないと思われる。今は、コロナの影響の方が大きく、新たな課題で生活は困っている。また、家族で亡くなった人がいる方々は、どうしてももとの生活には戻れない、と思うから、心の面では、完全な回復はないと考えている、などの理由である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	市のハード面は整備されているが、長い時間の中で、人口の流出や地域コミュニティの変化は否めない。さらに新型コロナウイルスの影響による経済活動の停滞で、今まで少しずつ積み重ねてきたソフト面(地域による活動も含め)が、非常に危うい状況になってきていると考える。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	住民の意識調査(復興に関して)の結果について知らないので、なんとも言えない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	住宅等は既に戸建て、公営住宅などが完成し回復したが、少子高齢化による過疎化が進んでいる。生活面では、被災者の高齢化に伴い、以前のように就業出来る人が減少している。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	1年前までは、少しずつでも、回復基調にあったように思うが、このところ、コロナの影響等で苦しい生活になっている人も増えている様に感じる。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	・魚介類がほとんど捕れず、収入が得られない。 ・復興需要がなくなって、新型コロナウイルスに襲われたために仕事が大きく減っている。 ・外に出ることが少なくなったので、自然と引きこもるようになった。 ・借金返済がかなり負担となっている。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	5を選んだ理由は、完全に回復したと思うから。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	漁業に関しては、ここ数年来のサケの不漁、アワビの不漁、イカの不漁が続き、今年はワカメの不作と共に新型コロナにより価格が下がり続けて、漁業そのものの先行きがとてもあやしくなっている。サケ定置網漁業も産業として成り立たなくなって行くのではないかな？
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	たまにしか話題とならず風化しているように感じる。

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	問題はコロナで需要が落ち込んでいること、及び、ホタテ貝をはじめとする貝毒の問題。私もホタテを養殖しているが、先行き不安である。昨年から新たに別の養殖(エゾイシカゲ貝)を始めたが、2年半収入を得られないのがきつい状況である。しかし、来年夏には出荷出来ると思うと頑張る勇気が湧いてくるが、貝毒とコロナが心配である。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産商工業施設の復旧復興工事が進み、景観的表面的には復旧復興がなされているように思われる。3.11東日本大震災襲来以来、地球温暖化現象も関係してか、海況の変化が著しい。カキ・ホタテ・ワカメ・コンブ等の浅海養殖業復旧復興が順調で一応安定しているが、黒潮暖海域魚類が漁獲され、寒流親潮系の基幹魚種であるサケ・スルメイカ漁等が不振続きで、漁船漁業の経営を圧迫している。浅海採取漁業は、ウニの海藻捕食にあつて岩肌が白くなる磯焼け現象によりアワビの餌ともなる海藻繁茂が追いつかず、アワビ採捕漁業にかなりの影響を及ぼしている。防波堤等関連工事を除き、産業施設関係、生活道路や住環境等の復興工事が終わり、建築作業員が激減した。これに伴い商工企業活動が停滞している。併せて新型コロナウイルス問題が、景気後退に拍車をかけている。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	商店街では、建物が新しくなって、場所が集約されてお客が増えると考えていたようだが、新しくなったのは建物だけで、経営者の考えは変わっておらず、集客に苦労している。挙句の果てには、行政が集客をしてくれないから、客足が遠のいていると話す。自力再建した個人商店は地道に頑張っている。何でも行政に頼るのを見聞きすると、あまりにも手厚く支援を過ぎたのかもかもしれない。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	回復しつつあったが、被災とは別の課題(新型コロナウイルス感染症)の影響により、地域経済も停滞せざるをえない状況。先が見えない不安もかかえている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	農業・水産業関連に従事している人々は、震災前と同様の「なりわい」の生活を営んでいる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	震災が原因での地域経済の低迷からは確実に脱却したと思う。しかしながら、その他の要因により(コロナ等)、経済は低迷している。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	コンビニができたり、会社関係の事業所ができた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域経済に関しては、かなり難しいと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産業従事者は減っているが、景気は悪くないと感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	漁業中心の町であり、以前に比べて不漁・漁業従事者の減少・高齢化で活気に乏しい。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	仕事など、出来る様になった人は、仕事してる様であるし、それなりに、進むべき所に、落ち着いて、仕事をして収入を得てる様である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	エール券などにより、少しは回復している感じはする。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	宅地が有り再建した方々も落ち着いたかに見えたが、再建の支払いが滞り、せつかくの持ち家の夢も破れ、宅地共々売り、災害公営住宅に入居した方もいる。公営住宅入居は一人暮らしの高齢者も多く、住宅管理費の支払に困る方も出て来ていると聞く。又、若い世帯では管理費が高いと退去した家族もいた様である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	震災の影響なのかわかりませんが、鮭やアワビ等が不漁で、海の幸に頼る沿岸地域には打撃となっている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	だいぶ回復していると思うが、最近ではコロナの影響もあり、よく分からない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	ペイペイを導入するくらい回復した。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	復興道路は整備され、回復を感じとれる。市街地での大型ショッピング店には人の出入りを感じる。しかし、小規模での店舗は活気はなく、コロナの影響もあるが、復興ショッピング等で救われている様子である。将来はどうなるかと心配にもなる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災前よりは厳しいながら、表向きは以前に近いような形で経済活動が行なわれているように思う。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	復興道路が目に見えて進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	基幹産業である漁業の極端な不漁が続いており、漁業者は苦境に立たされているようだ。コロナ禍の影響で売上減は漁価の低迷など震災とは別な状況があり、コロナの一日でも早い収束を願うばかりである。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・中心市街地への店舗、事業所の再建は前回調査時以降も進んでいる。 ・空地为クローズアップするのではなく、再建が進む町をアピールしてほしい。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	生産体制や基盤の整備、金融面での支援は達成レベルにある。ただ、毎年の不漁により、従来のビジネスモデルは崩れており、長期安定して生産を継続するために、新たな施策が必要。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災に対する事業者や店などは、新しい土地にできているので、回復しているように見えるけど、個々の実感としてはこれから2~3年しないとわからないと思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	三陸道の開通で、利便性が大きく良くなったと思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	宇部川地区ほ場整備事業が完成し、換地による登記も完了した。ありがとう。(私も地権者である。)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	・市内で花火大会等のイベントが開催されるなど、集客できるようになってきている。それによる経済効果もあったと思う。 ・県立野外活動センターも完成したようで、市内へ来る観光客も、増えるのではないかと期待がある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	新しい店舗で再開している方々が多くなった。一方で廃業してしまった方々もいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	街並みは変わりつつある。商店や飲食店も増えた。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	・農林水産業の内、漁業に関する事は、海面の温度が上昇傾向にあって、特に魚類関係が水揚減少により、各方面(冷蔵庫関係)とか、魚類を生業としている関係に大きな影響が出ている。 ・最近、今迄続いてきた海面の利用について、各地域では、県・市・漁協協同組合で許可して来た、漁業権が見直しされ、企業の参画が認められ、今迄続いて来た沿岸漁業者は、大きな不安な材料が出て来て、将来に向って不安な要素がでて来ている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産関係はサケ、サンマの不漁がつづいている。温暖化のためと思う。今後も期待できず、転換期であると思う。沿岸での魚の養殖等を考えなければならないと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	地域経済の上昇に歯止めをかけるかの様に、新型コロナの影響は深刻であると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	震災の影響の点では、できるとここまで回復したと思う。今後はコロナの影響が心配。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	地域全体、被災前と比べてということであれば、ある程度は回復しているとは思いますが、直近6ヶ月を見れば、コロナの関係もあり、停滞あるいは下降気みではないだろうか。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	コロナの影響で、他地域からの往来が消極的となり、観光やそれに付随した経済にダメージが大きいと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	アバッセ周辺に会社が建つのが続いているのは、経済が回復した一つの明かしだと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	コロナの影響で旅行者が減り、お店の経営が大変だと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	復興工事の終了とコロナが重なり地域経済にあまり元気を感ぜられない。これからは外部に望みをたたくより、地域で地域の人達が経済をまわさなければならない状況なのだろうか。ネットでの活動もはじまっているようなので、期待したい。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	・コロナ禍の影響もあるため、回答は難しい。 ・復興時は、県外からの関係者が多く見られていたが、終盤になってきたことで、人々の出入りがかなり少なく感じている。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	震災よりも自然災害や不漁等(コロナも)の影響が大きいと感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	サンマやサケの漁獲量が減っていて、漁業関係者の方は大変だと思う。また、コロナウイルスの影響で、飲食業や宿泊業も大打撃を受けている。地域を応援したくてもできない状況が残念でならない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	水産業にしていえば、生産基盤が整い生産活動が本格化してきている。また、漁業と地域の商店街等の新たな結びつきも生まれ、以前とは違った活気がある。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災からは回復したと言えるのかもしれない。しかし、コロナ禍によって、大きなダメージを受けているところがある。建設業は、コロナ禍の影響は、あまり受けていないように聞いている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	漁業者ですが、サケ、スルメ、アワビなど冬にとれる物の不漁が続く大変である。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	水産関係が全て不漁のようで、復興は進んでも、自然環境に左右されている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	住宅再建も終り、建設業の仕事が一気に少なくなり、この先心配である。また、コロナの影響で落ち着いて生活が出来なく、経済も不安である。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	女	漁業の不漁。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	コロナ感染症拡大予防の措置により、地域経済の落ち込みが感じられているが、これが震災による後遺症なのか、コロナの影響によるものなのか、判断がつかない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	回復していたが、コロナや鮭の不漁等で、水産業は大変な事になっている。コロナの影響で水揚げされた魚類等の単価が下がれば、我々漁業者の収入は下がるのを見せている。自然相手の仕事だから仕方がないことだが、先が見えず不安だ。今年はアワビも安く、漁業者にとっても厳しい年になっている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	サケ稚魚、アワビ稚貝放流の減少や遅れの影響がでている。あわせて環境の変化で高水温、海藻不足などにより、よりいっそうの水揚げ減少となっていると思われる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	水産業の不漁が続いている。以前なら定期で短期雇用される枠が近年見られない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	東日本大震災において被災した沿岸の水産関連業種についてはハード面の回復はなされてきていると感じられる。しかしながら地域経済については、台風からの復興工事が進む一方で、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、観光業や観光業に対する売上が大きい業種を中心に落ち込みを見せるなど、懸念される状況が続くものとなっている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	経済総体では震災以前より事業状況の良化は見られる反面、震災ではなくコロナ禍や水産業における漁獲量の減少といった問題の影響が大きく表れている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	コロナの影響が大きく、東日本大震災からの回復を実感することができない。(本当は回復したのかもしれないが)
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	震災からの回復は、おおむね順調に進んでいると思う。コロナ禍・水産業の不振による打撃が最近は大きいと思われる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	震災による影響ではなく、コロナウイルス感染症による経済の落ち込みが見られる。特に飲食業関連の方々の大変さを耳にする。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	働く場所があるのか、疑問である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	市全体で(もちろん、支援のお陰でもある)回復への1歩1歩を重ねてきたが、実際、新型コロナウイルスの影響が大きいと方々から聞くことが多くなった。水産関係も水揚げ量の減少などがあり、今シーズンは大変な様子である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	漁業が中心であったが、最近はサケ・アワビも獲れない。漁師は大変である。また、コロナで若い人達の仕事も大変なようだ。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	コロナのこともあり、よくわからない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	市として様々な取り組みを行っていることは分かるが、詳しい実情を聞く機会がほとんどなかったため、どちらとも言えない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	前回(令和2年7月調査)と同じ理由のため。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	復興需要も減少し、そこにコロナウイルスの流行により、地域経済は、震災前よりも悪くなっている業種がみられる。(飲食店)
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	農林水産業や商業共に基盤整備は終了したが、少子高齢化により生産性が低下している様に思える。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	農業・漁業では、農地の災害復旧、漁船、漁港等の災害復旧は完了している。しかし、二度の台風被害や漁業の不漁が続く、あまり回復しているとは感じられない。また、新型コロナウイルスの影響による観光宿泊面での影響も大きい。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産業は温暖化等の影響で水揚げが少なくなっている。このところを考えてほしい。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	主要産業である水産業において、サンマの不漁をはじめ、多くの魚種の不漁が顕著である。また、コロナ禍の影響も加わり、販路が縮小している。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	復興需要も終焉を迎えつつあるところに、新型コロナの影響が追いつきをかけ、会社の決算内容も前期に比較し、悪化している企業が増えていると感じる。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災の影響というよりは、コロナを原因とする不景気が見られるように思う。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	魚がある程度捕れるようにならないと、何をやっても効果がないと思う。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	5を選んだ理由は、完全に回復したと思うから。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	(1)農林業について、一生懸命、長い間、戦後植林を続けてきた。今50年以上になり、国より企画で地域経済のため、個人・団体が造った山林が大きくなっている。しかし材料を売っても安い。農林業生産体制、金融面の支援をお願いする。 (2)水産業について、様々な浜の漁が全て不漁である。コロナウイルスの関係で安い値段で取引され、加工業者・生産者・関連事業者、全く大変なようである。様々な支援をお願いしたい。 (3)同じである。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	不漁、不作、コロナウイルスの影響などが続き、せっかく少し増えてきた漁業後継者たちが諦めて仕事を変えてしまわないか心配である。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	前のページ(被災者の生活の回復に対する実感)と同じ理由である。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	コロナウイルス感染症予防対策のために、経済活動は低迷しているから。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災前に近いくらい復興したと感じていたが、コロナの影響か景気の流れなのか、相当落ち込んでいるようだ。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	人口減の影響もあり、ここに来てコロナの影響により飲食店を筆頭に景気は著しく落ち込んでいる。回復傾向にあった各業種の経営が危機的状況になってきている。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	コロナのためによく分かりません。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	新型コロナウイルスの影響が、どの程度、地域経済の回復の妨げになっているのか、よくわからなくなっている。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	コロナの影響が大きいように思われる。

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	気仙川河口に防潮堤も完成と成り、万一の津波の時も時間が取れる事である。ありがとう。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	インフラ整備は充実し、それをまのあたりにすることで人々は安心感を抱いているが、残念なこと、その安心感のためか、避難訓練などのソフト事業への参加が多くはない。市民レベルでの防災対策は、やっている人たちだけがやっている感があり、市民総出で取り組むための意識改革が必要だと思う。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	地元の防災施設は既に完成し、三陸北道路、宮古盛岡縦貫道も年度内にほぼ完成し、防災・避難対策は充実した。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	女	完全ではないが、完成に近づいている。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤をはじめ道路整備が確実に進んだと感じる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤はある程度達成したが、まだ水門工事が遅れている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	災害の減災の計画を立てているのは行政であるが、住民1人1人が災害時の避難を怠ってはいけないと思う。私は、平成5年の津波を経験してから、平成23年の東日本大震災の津波迄に5回の津波経験して約3年に一度の津波経験し、その都度市内漁業者は大きな養殖施設に被害をうけて来た。それにも関わらず市民の多くの犠牲者が出た今回の津波である。いわゆる災害の頻度が多いと人間は慣れるという性質があり、これらの経験を踏まえ、行政は、災害に備える事が重要であると思うので、広報活動が重要と思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	気仙川の水門も完成し、高台もカサ上げにも家が建ってきている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	問題は、コロナ対策と思います。最近地震が頻発しているので、津波避難の際の避難所の運営について真剣に対策を考えなければと思っています。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	春先からの新型コロナ感染症の流行の関から、進み具合が、やや減速した感じである。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住環境整備・道路網整備が、かなり進んだことは、喜ばしい。生命の安心安全のための防波堤工事は、私の住んでいる地区の防波堤関連工事は完成に近いが、まだ先の地域もあるようだ。いよいよ、東日本大震災、満10年目の節目を迎える。10年を越えない復旧復興工事の完成を切望するものである。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤工事は山田、大沢地区で、水門工事は織笠川、山田関口川河口で現在も工事が進められている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	いろいろな場所に、それなりの建物など作る事は出来た様だが、又、同じ様な震災が起きた時、海岸の近くの住宅などは、再び同じ状況になると思う。田老の高台の様な所でない、又、今作ってる防波堤も壊れないと言う保証はないので、完全に進んだとは思われない。(安全確保について)
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	近くに避難道路はあるが、夜には暗いので、心配である。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	三陸道が完成し、災害の時など孤立する事なく、何処へでも繋がる安心道だと思う。又、時間も短縮され、仕事の上でも多くの業者が利用している。防潮堤は、今、盛んに工事中で出来るまでは、大きな災害が来ないことを願っている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	・防潮堤がどんどん出来上がってきており、復興道路も着実に完成している。 ・災害に対する「自己防衛意識」が自分を含め、住民の大半にないと思われる。誰かの助けに頼ろうという面が大きいと思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤は、町内全域では、まだまだ完成には遠いと感じる。高台移転は完了した。今後は、津波災害の風化を防ぐことの継続が必要。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	川のそばを通らなければ高台に行けない。低い土地を通らなければ高台に行けない。目の前に高台があるのに迂回しないと高台に行けない。そのような場所が中心街にある。例えば、区画整理前は高台に通じる道があったのに、駅を移動したため、踏切を設置できず、迂回しなければ避難できない。三陸津波やチリ地震津波のとき、今回の大震災でも、多くの人がその道を通り高台に逃げて助かったのだが。人命を優先したまちづくりを計画していただきたい。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード的にはスピード感はないが、確実に進んでいると思う。それに伴い個々の意識が薄れてきているのも事実で、今後はハード面だけでなく、ソフト面でも安全・安心と言えるような取り組みに力を入れるべきである。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤も徐々に完成し、震災前の状態に戻るのも近い様な気がする。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	新しい道路もどんどん出来上がり、防潮堤の工事も進んでいる様に見える。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤や道路の整備が目に見えて進んで来ていると思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	堤防の工事、道路の整備も進んでいる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	宮古盛岡横断道路の区界トンネルも開通し、内陸との行き来がしやすくなったのも、安全なまちづくりの一歩でもあるのだと思う。しかし、人々の防災意識は自分も含め薄れてきている気がする。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	防潮堤、インフラ整備は大分進んでいる。今後の災害・天災に対応できるか否かは誰にも断言できないのでは？と思う。大事なことは一人一人個人が防災に対する意識を持ち続け、継承していくことと考える。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	防潮堤などのハード面が完成し、安全面に於ては、かなりの不安感が解消されたと思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤の整備が進んでいる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	三陸自動車道がどんどんつながりうれしい。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	防潮堤の整備は進んでいる。今後、ハザードマップや、万が一の避難場所がどこなのかを各自理解し、命を守る行動がとれるようにしていくことが必要と思う。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	ハード面はほぼ完成に近づいており、今年は大きな台風襲来もなく、この点では明るいものを感じている。とにかく今はコロナの収束が一番である。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	・地域の防潮堤はできた。 ・新たに高台を走る中間道の新設工事は、かなり進んでいるが、完工までには、まだ時間を要する。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	自治会等に働きかけて住民への理解を深めてほしい。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤については、農林水産省が管理との事だが、手摺りがない部分が多く、不安感がある。 事由1 強風、台風、地震等、「恐くて」防潮堤の上を歩けない。安全面に大きな不安感がある。 事由2 農業の為に防潮堤だから、手すりがかかからない…という理由が判らない。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・防潮堤の工事は、ほぼ完了している。津波浸水地の公道改良が不十分な箇所が目立つ。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	大規模な防潮堤もその形が目に見えて確認できるようになり、災害に備えたまちづくりは着実に進行していると感じる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	高台移転が完了し、防潮堤の整備も進んでいる。安全なまちづくりの点では進んでいるが、浸水地域の活用については空地が多く活用の目途が立っていない。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	来年3月までには防潮堤は完成するということなので、達成しつつあると思う。まだ周辺の整備に半年～1年位かかる予定らしいので、もう少しだと思うけど。新しい津波の予想もたつたので、それに対応する方策も必要だと思っている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	防波堤が来年の3月が工期となっており、ようやく安心・安全なまちづくりが待ち遠しいです。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	野田林の防潮堤がもう少しで完成しそうである。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤の整備も大切だが、次の災害がくる前に、高台移転等に補助金を出すべきである。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	災害に強いまちづくりは進んでも、住民がいなくなりそうだ。工事関係者が去った後の地域経済が心配である。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	沿岸の防波堤や堤防については修復が完了しているものと思われるが、台風被害が大きかった河川流域では工事が継続しており堤防の完成が待たれるものとなっている。また、ソフト面では各地における災害時における訓練や意識付けをする研修も実施されてきており、住民の防災への意識の高まりも感じられる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	最後の工事(防潮堤)がもうすぐ終わりそうである。7月の海開きまでには、約束どおり、きちり完成させてほしい。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	各地の防潮堤等もかなり完成して、安心感が増している。今後は意識の風化などソフト面を大切にしていこうと思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	三陸自動車道の建設が着々と進んでいる。また、海沿いの道路などにおけるかさ上げ工事も続けられている。自分が思っていたところより高いところに道路をつくっており、驚いている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	高台へつながる道路ができた。市内の道路も整備されてきており、目に見えてまちづくりが進んでいると感じる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	国・県・市の事業として、防潮堤や道路等、しっかり整備され“安心”を目指し進んでいると思う。10年を迎えるにあたり…市民一人ひとり(特にも小中学生)に防災教育を行いたいものである。震災後に生まれた子どもたち、当時幼かった子どもたちが大人になった時、“誰かに手を差し伸べる人”、“被害を最小限にできる人”になってほしい。そして“安心”を地域で共有してほしい。“安全”は数値ではかれるが、“安心”は人の心が決めるものだから。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤は、日々工程が進んでいるのが目に見えるようになってきた。復興までにはあと少し、来夏には海びらきができることを願っている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤も完成し、道の整備も進んだ。復興まちづくりも進んでいる。しかし、災害時の拠点となる市庁舎の整備が進んでいない。(当市に限っては)
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤等の工事が急ピッチで進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤も確実に完成に近づいている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	高速道路が宮古方面にもグンと伸び、便が良くなった。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	久慈市内にはペットとともに避難できる場所が無いと思う。今後、そのような場所も是非つくって頂きたい。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	復興道路の整備が着々と進んでいる。日々、整備が進んでいるように思う。一方で、復興道路完成後、更に人口の流出が進むのではと危惧している。観光でどれだけの人がこの市にやってくるのか別の視点で人口流出を防ぐ取り組みを長期的に考えていかなければならないと考える。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	水門工事が進行中であり、安心して生活が出来る環境が残されている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の新設等、対策は取られ、建設も終わりに近づいている。一方、先の台風により損壊した道路は手つかずのまま。災害時の迂回路的な役割をなすものであり、早急な着手を望む。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤完成には、長く期間がかかる。長い目で見ていかねばと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤や、道路の整備は大分進んだが、震災の風化により、災害への意識がうすらいでいるように感じる。又、震災を知らない(覚えていない)世代が高校生になっている中で、防災、震災の教訓を伝承していくことが、今後、ますます必要になってくると考える。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	復興工事も進み、被災地域もほぼ以前の生活に戻つつある。ただ、災害に強いまちづくりとなると以前から防波堤等がある地域でそれほど変化は感じない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤、インフラの整備は続いている。完成により避難経路も確定すると思われる、現状での判断は難しい。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤工事は進んでいるが、完成するのがいつなのか？
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	ハード面の整備が全てではない。喜ぶ人もいれば、反対している人もいると思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	避難所の明示、村内における避難訓練や放送による注意喚起等、一定水準の方策は行われている。反面、高齢者や移転間もない住民へのケアが不明瞭である。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	インフラ系は進んでいる。ただ、他の要因(コロナ)によって、不安な気持ちが高まっている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	児童の防災教育が進んでいると思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	防潮堤の整理や、三陸道路が着々と進んでいると感じるが、避難方策の充実はどのようになっているのか、よく、わからない。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	・最近、地震が多くなっているが、建物の造りその物が耐震に本当に優れているか、疑いを持っている。 ・集合住宅の避難用の非常用ベルが聞こえない。また、集合住宅は、高齢者が多いことから、建築関係の担当者の無責任さを感じる。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	津波対策の防潮堤は完成した。しかし、台風に対する対策は遅れており、東日本大震災、平成28年台風10号、令和元年台風19号と3回も被害に遭った世帯もある。避難のための訓練やハザードマップの周知など、ソフト面での対策と台風による内水犯鑑のハード面の対策が必要である。11月に防災訓練を実施し、防災士の資格を持つ人も増えており、防災のまちづくりは進んでいる。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	防潮堤の完成を待っています。
達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	津波防災対策の一環として、建設されてきた田代川河口水門は外観上は出来あがったように見受けられるが、それに連なる防浪堤や乗り越し道路、陸閘の開閉式門扉は未完成である。日本海溝、千島海溝を震源地とする大津波予測の公表以来、不安が常に頭をよぎっている。昨年10月の台風19号による市街地の洪水、土砂災害は、以前から予測されていたことが現実のものになり、今後の防災対策が急がれる。
達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	地区内水門が未完成で工期延長となっている。又、寸断された橋の工事がやっと開始されたが、同様に工期延長となった。
達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	・大船渡市内でも完成して立派なところもある。防潮堤復興工事まだ道半ばで頑張っている様だ。 ・白浜海岸について、復興工事防潮堤工事津波前と同じ高さで、その代わり、崖対策をお願いした。災害に強い安全なまちづくりを目指して、何とか復興工事最後のお願したい。
達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	防波堤の建設にまだ時間がかかりそうである。三陸道の開通で安心感は大きくなった。
達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	防潮堤は整備されたが、小・中学校が海の近くにあるため、安全なまちづくりはできていない。人命が失われる危険がある。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	コロナのために外出を控えているので分からない。

令和3年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発 行

令和3年2月18日
岩手県 復興局 復興推進課

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10-1
電話 019-629-6945

【自由記載集：掲載にあたって】

- ・自由記載（理由）は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。
（一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。）